



中学校教育の  
これまでとこれから

# 中学校教育60年間の歩み

小誌は、昭和54年に創刊した「進研ニュース」(「VIEW21」の前身)の時代から数えて、今号で300号となる。その特別企画として、新学制発足から今日まで約60年間の中学校教育の歩みを、図表と写真で振り返る。

## 戦後復興期

- 教育基本法・学校教育法公布
- 新制高等学校発足
- 新制による小学校・中学校発足
- 学習指導要領(試案)発表

● 学校給食法公布

● 学習指導要領 告示「系統性の重視」



戦後すぐの学級編制基準は1学級当たり50人だった(写真は昭和33年の授業風景)

## 高度成長期

● 学級編制の標準を50人から45人に引き下げ

● 学習指導要領 告示「教育内容の現代化」

● クラブ活動必修化

● 大学・短大進学率が2割を超える

● 中央教育審議会(中教審)答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」(四六答申)

● 大学・短大進学率が3割を超える

● 大学・短大進学率が4割を超える

● 主任制度の導入

● 学習指導要領 告示「ゆとりと充実」

● 学級編制の標準を45人から40人に引き下げ



配付物やテストは、すべてガリ版(騰写版)で印刷していた

## 安定成長期

● 臨時教育審議会(臨教審)設置

● 教育公務員特例法(一部改正)(初任者研修の制度化)

● 学習指導要領 告示「新しい学力観」

● 「部活代替制度」

● 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」

● 中教審答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」

● 学校週五日制(月1回)

● 平成15年 VIEW21にリニアール

● 業者テストの使用自粛

● 大学・短大進学率が5割を超える

● 学校週五日制(月2回)

● 中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第1次答申)

● 中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第2次答申)

● 学習指導要領 告示「生きる力」

● 必修クラブ活動の廃止

● 中高一貫教育の制度化

● 教育基本法改正 ● OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2006(科学的リテラシー)

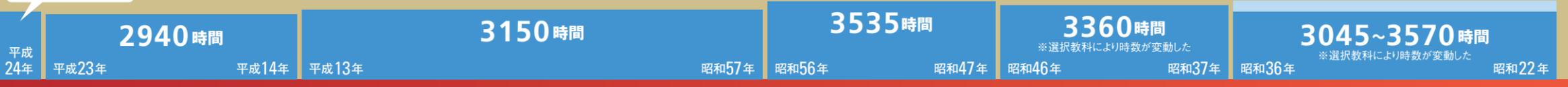
● 教育三法(学校教育法、教育職員免許法及び教育公務員特例法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律)改正

● 学習指導要領 告示「生きる力」 ● 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2007結果発表

## 高校進学率



## 中学校3年間の授業時数



平成10年、携帯電話・PHSの普及率が3割を超える



平成以降、コンビニエンスストアが急増。平成4年に2万店を超えた



昭和58年発売「ファミコン」は流行語になるほどの社会現象になった



「外食元年」とも言われる昭和45年ごろから、外食産業が急速に発展した



昭和39年は、東海道新幹線開業と東京オリンピック開催に日本中が沸いた

\*参考文献等はP.44をご参照ください